

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

お市沼伝説

ここだけの話ですがシリーズ

あの頃と少しも
変わっていない
神秘的な姿を
今も残していた

私がこの沼を
訪れるのは
十年ぶりだった

たぐちえつお



私は日本各地に伝わる
民話を集めて編集
している民話作家である



今でもこの地に伝わる
お市沼の伝説を
鮮明に覚えていて



昭和の初め頃 長野県で
木材で財を成した豪商がいた
豪商にはお市と言う美しい娘がいた
娘には親が決めた許婚がいました

ある日 許婚が銀行で
預金を下ろした帰り
暴漢に襲われ
殺される事件が起きた
悲観した娘は
自宅裏の沼に身をなげ
命を落としたのでした

一人娘を失った親は
二人のために沼の近くに
供養塔を建てたのでした



許婚を殺害した犯人は
見つからないまま
半年が過ぎた



そしてまた
殺人事件が起きた
被害者はお市の
いとこだった



いとこの服の中から
半年前に殺された
お市の許婚の
預金通帳が
見つかった



警察はいとこを
調査した結果
今で言う
ストーカー行為を
お市に繰返し
行なっていた

いとこはお市の
許婚を憎み
殺害したことが
分かった

いとこは
被疑者送検と
なった





警察は着物を
手掛かりに
捜査を開始した



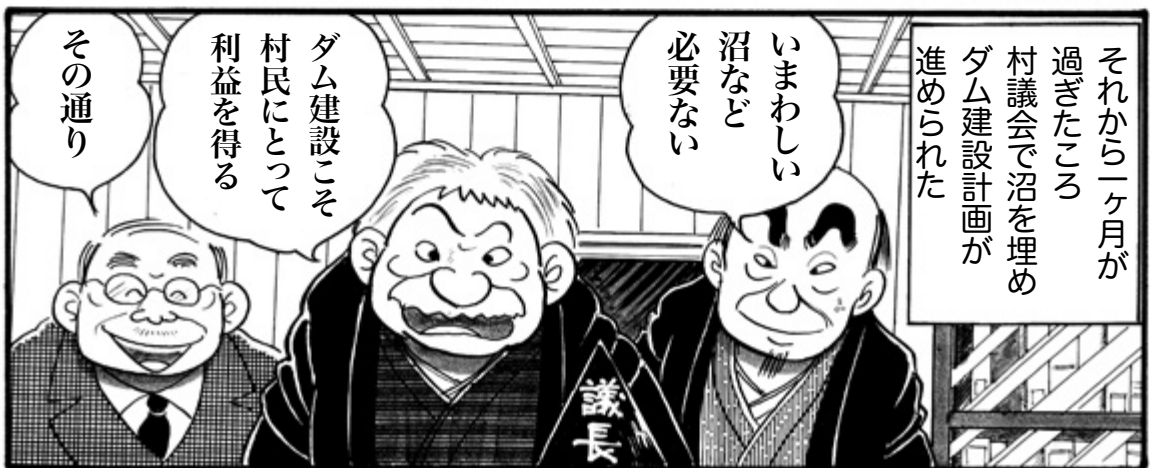
いこの手の中には
女性の着物の切れ端が
握られていたのです



世間はお市の祟りが
恨みを晴らしたのだと
思った



着物の切れ端は
半年前に入水自殺した
お市の着物と分かった



それから一ヶ月が
過ぎたころ
村議会で沼を埋め
ダム建設計画が
進められた

いまわしい
沼など
必要ない

ダム建設こそ
村民にとって
利益を得る

その通り



驚くことに
ダム建設を推進した
三人が一ヶ月以内に
次々と沼の近くで
怪死する事件が
起きた



この殺人事件も
お市の祟りだと
噂された



犯人は分からず
迷宮入りと
なった



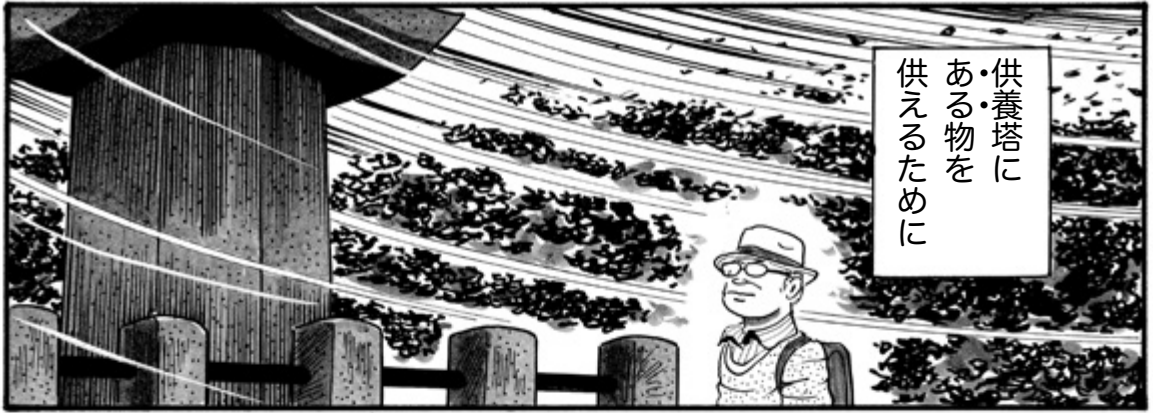
祟りを恐れ
ダム建設は
中止となった

沼が埋め立て
られずに済んだので
お市の両親は
大変喜んだ



お市の両親も他界し
永い年月が過ぎた
今ではこの地を訪れる
者などいなかった

私がこの地を
訪れたのには
訳があるからだ



供養塔に
ある物を
供えるために



久しぶりです
お二人さん

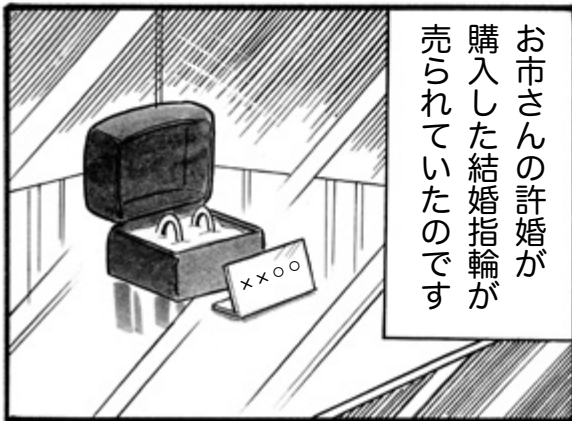
今日は二人にとって
大変大事なモノを
持って来ましたよ



ある日のこと
質屋で見た指輪が
私を釘付けに
したのでした



驚いたことに指輪には
お市さん達二人の
イニシャルが刻まれて
いたではないか



お市さんの許婚が
購入した結婚指輪が
売られていたのです



想像も
していな
かったよ

まさか
東京の質屋で
見つかる
とはねえ

いとこは許婚を
殺害し指輪を
盗んでいった



イニシャル
入りだと
高値では
無理だよ

だが指輪の
処分に困り
質屋に入れた



良かったね
これでやっと
天国で夫婦に
なれたね



